

2026年2月の天候（山形県）

目 次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位更新
- 7 その他

山形地方気象台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L 023-622-0632

[注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田・新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は、後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

1 天候経過（2026年2月）

【今月の特徴】

○高温 ○村山で少雨（雪）

- ・山形ほか9か所で月平均気温の高い方から2月として1位を更新した。
- ・山形・上山中山で月降水量の少ない方から2月として1位を更新した。

【概況】

月

この期間、上旬は、冬型の気圧配置となる日が多く、雪の降る日が多かった。中旬以降は一時的に冬型の気圧配置となっても長続きせず、天気は短い周期で変わった。天気の大きな崩れはなく、気温は平年よりかなり高く経過した。

月平均気温は、かなり高い。月降水量は、村山・置賜は平年並から少なく、かなり少ない所があった。庄内・最上は少なく、かなり少ない所があった。月間日照時間は、村山・置賜・最上は平年並から多く、庄内はかなり多い。月間降雪量は、村山・置賜はかなり少ない。庄内・最上は少なく、かなり少ない所があった。

上旬

この期間、冬型の気圧配置となる日が多く、また、寒気や低気圧の影響で曇りや雪の日が多かった。

旬平均気温は、村山・置賜は、高く、庄内・最上は平年並から高い。旬降水量は、村山は、平年並から多く、かなり少ない所もあった。置賜は、平年並から少なく、かなり少ない所があった。庄内は、平年並から少なく、多い所があった。最上は、平年並から多く、少ない所があった。旬間日照時間は、村山は、平年並から少なく、かなり少ない所があった。置賜・庄内・最上は、少なく、かなり少ない所があった。旬降雪量は、村山は、少なく、かなり少ない所があった。置賜・庄内は、平年並から少なく、置賜は、かなり少ない所があった。最上は、少なく、多い所やかなり少ない所があった。

中旬

この期間、日本付近を低気圧が周期的に通過した。低気圧が通過後は、東北地方は一時的に冬型の気圧配置となるが長続きせず、天気は短い周期で変わった。

旬平均気温は、かなり高い。旬降水量は、村山は少なく、かなり少ない所があった。置賜・庄内・最上は平年並から少なく、かなり少ない所があった。旬間日照時間は、かなり多い。旬降雪量は、村山・最上は少なく、かなり少ない所があった。置賜・庄内はかなり少ない。

下旬

この期間、高気圧と低気圧や前線が日本付近を交互に通過し、天気は周期的に変化した。天気の大きな崩れはなく、気温は平年よりかなり高く経過した。

旬平均気温は、かなり高い。旬降水量は、村山は少なく、かなり少ない所があった。置賜・庄内は平年並から少なく、かなり少ない所があった。最上はかなり少ない。旬間日照時間は、平年並から多く、置賜では少ない所があった。旬降雪量は、村山・置賜・最上はかなり少ない。庄内は少なく、かなり少ない所があった。

2 日々の気圧配置（2026年2月）

- 1日：北日本は、冬型の気圧配置となっており、低気圧が、北海道をゆっくりと南東へ進む。
- 2日：北日本は、冬型の気圧配置で、気圧の谷の影響を受ける。
- 3日：北日本は、冬型の気圧配置が次第に緩むが、寒気の影響を受ける。
- 4日：高気圧が、北日本を緩やかに覆うが、寒気の影響を受ける。
- 5日：低気圧が、朝鮮半島から日本海に進み、温暖前線が東北地方に進む。
- 6日：低気圧が、日本海北部にあって東北東へ進み、寒冷前線が、東北地方を通過する。
- 7日：北日本は、冬型の気圧配置となる。
- 8日：北日本は、冬型の気圧配置となっている。また、低気圧が、北海道から東北北部に進む。
- 9日：北日本は、冬型の気圧配置が、次第に緩む。
- 10日：高気圧が、東北地方を緩やかに覆う。一方、低気圧が、東シナ海を東へ進む。
- 11日：低気圧が、四国沖から関東を通過して日本の東に進む。また、別の低気圧が、北海道から千島近海に進む。
- 12日：北日本は、冬型の気圧配置となる。
- 13日：高気圧が、東シナ海にあって日本の南に移動する。一方、気圧の谷が北日本を通過する。
- 14日：高気圧が、日本の南にあって、日本付近を緩やかに覆う。一方、低気圧が日本海北部にあって東北東へ進む。
- 15日：低気圧が、日本海北部にあってオホーツク海へ進み、寒冷前線が、東北地方を通過する。
- 16日：本州付近は、冬型の気圧配置となる。
- 17日：高気圧が、日本付近を緩やかに覆う。
- 18日：低気圧が、日本海から北海道に進み、寒冷前線が東北地方を通過する。
- 19日：低気圧が、北海道を東へ進み、北日本は冬型の気圧配置となる。
- 20日：高気圧が、日本付近を覆う。
- 21日：高気圧が、東北地方を緩やかに覆う。
- 22日：高気圧が、東北地方を緩やかに覆う。一方、低気圧が沿海州を北東へ進む。
- 23日：低気圧が、沿海州を北東へ進み、寒冷前線が日本付近を通過する。
- 24日：高気圧が、北日本を覆う。
- 25日：低気圧が、三陸沖から日本の東へ進み、別の低気圧が九州から日本の南に進む。また前線が日本の南から日本の東にのびている。
- 26日：低気圧が、日本の東にあって北東へ進む。一方、高気圧が千島近海にあって北日本を緩やかに覆う。
- 27日：低気圧が、日本の東にあって北東へ進む。一方、高気圧が千島近海にあって北日本を緩やかに覆う。
- 28日：低気圧が、日本の東にあって北東へ進む。

3 気候統計値（2026年2月）

・2026年2月の平均気温、降水量、日照時間

		平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
		本年	平年差（℃）	階級区分	本年	平年比（%）	階級区分	本年	平年比（%）	階級区分
山形	上旬	0.7	+0.9	高い	6.5	29	かなり少ない	26.5	87	平年並
	中旬	3.9	+3.6	かなり高い	4.0	16	かなり少ない	54.7	159	かなり多い
	下旬	5.8	+4.5	かなり高い	8.0	51	少ない	31.5	90	平年並
	月	3.3	+2.9	かなり高い	18.5	29	かなり少ない	112.7	113	多い
酒田	上旬	1.6	0.0	平年並	30.5	68	少ない	9.1	60	少ない
	中旬	4.6	+2.6	かなり高い	18.5	42	かなり少ない	41.3	226	かなり多い
	下旬	7.9	+4.9	かなり高い	10.0	33	かなり少ない	36.0	135	多い
	月	4.5	+2.3	かなり高い	59.0	50	かなり少ない	86.4	144	かなり多い
新庄	上旬	-0.7	+0.3	平年並	83.5	136	多い	8.9	57	少ない
	中旬	1.6	+2.1	かなり高い	28.0	49	かなり少ない	35.2	179	かなり多い
	下旬	3.7	+3.5	かなり高い	4.5	13	かなり少ない	26.7	109	平年並
	月	1.4	+1.9	かなり高い	116.0	75	少ない	70.8	118	平年並
米沢	上旬	-0.7	+0.4	高い	26.5	69	少ない	19.9	76	少ない
	中旬	1.3	+1.8	かなり高い	23.0	60	少ない	51.4	174	かなり多い
	下旬	3.1	+2.8	かなり高い	11.5	45	平年並	28.4	90	平年並
	月	1.1	+1.6	かなり高い	61.0	60	少ない	99.7	114	多い

注】次の表示 X:欠測) : 準正常値] : 資料不足値 - : 現象なし (平年値は1991～2020年の平均値)

・2026年2月の降雪量（降雪の深さの合計）と最深積雪

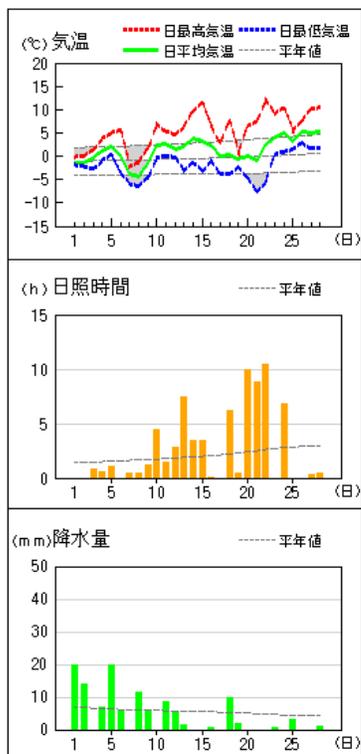
地点	降雪量					最深積雪					
	本年（cm）	平年（cm）	平年比（%）	階級区分	昨年（cm）	本年（cm）	起日	平年（cm）	平年比（%）	階級区分	昨年（cm）
酒田	19	62	31	かなり少ない	49	19	1日	23	83	少ない	11
金山	88	208	42	かなり少ない	192	154	2日	135	114	平年並	145
狩川	60	165	36	かなり少ない	98	72	2日	73	99	少ない	45
新庄	105	165	64	少ない	239	178	2日	126	141	平年並	137
向町	78	212	37	かなり少ない	228	136	2日	134	101	多い	167
櫛引	86	160	54	少ない	124	101	2日	73	138	少ない	38
肘折	174)	343	51	かなり少ない	345	332)	2日	321	103	平年並	336
尾花沢	107	231	46	かなり少ない	275)	192	2日	149	129	多い	201)
大井沢	153	291	53	かなり少ない	308	263	3日	255	103	かなり多い	323
左沢	62	185	34	かなり少ない	168	73	1日	76	96	多い	96
山形	18	79	23	かなり少ない	105	12	1日	47	26	多い	58
長井	66	200	33	かなり多い	265	91	1日	105	87	かなり多い	153
小国	157	257	61	かなり少ない	307	222	2日	171	130	かなり多い	263
米沢	83	196	42	かなり少ない	232	95	1日	97	98	かなり多い	162

注】次の表示 X:欠測) : 準正常値] : 資料不足値 - : 現象なし (平年値は1991～2020年の平均値)

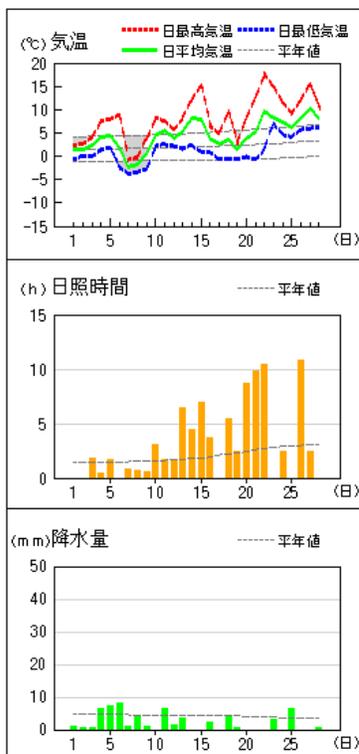
4 気象経過図（2026年2月）

アメダス 気象経過図：2026年02月01日-2026年02月28日

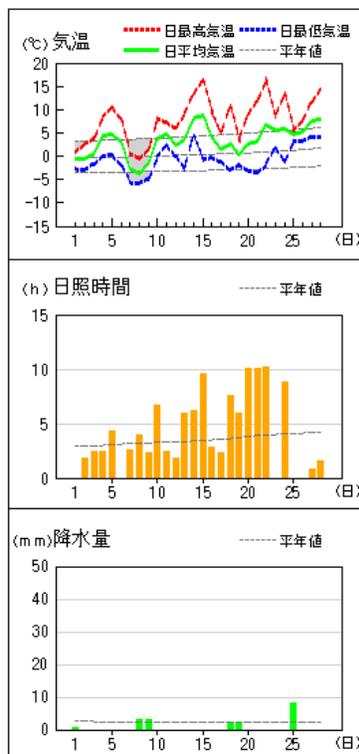
新庄



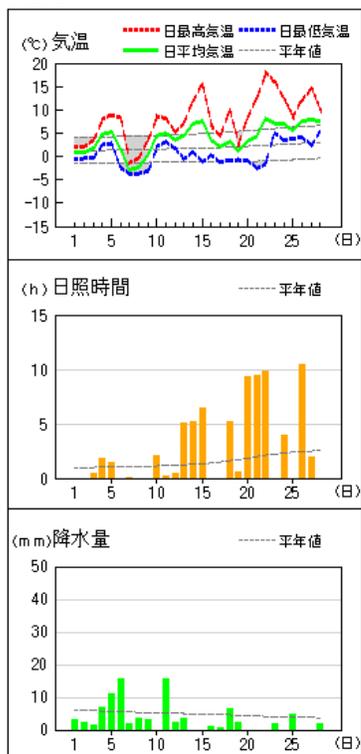
酒田



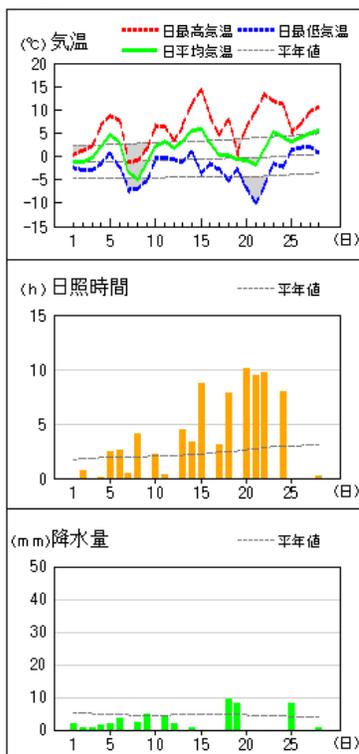
山形



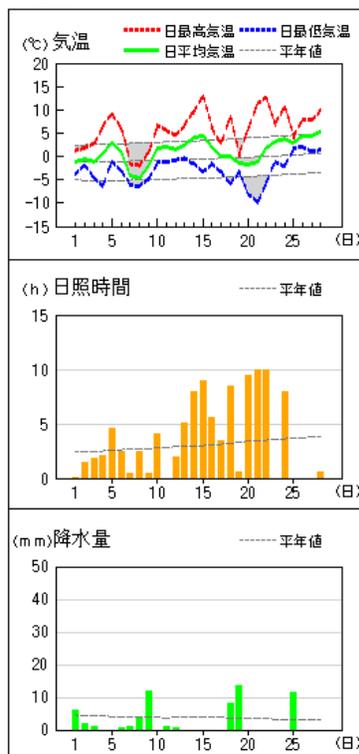
鶴岡



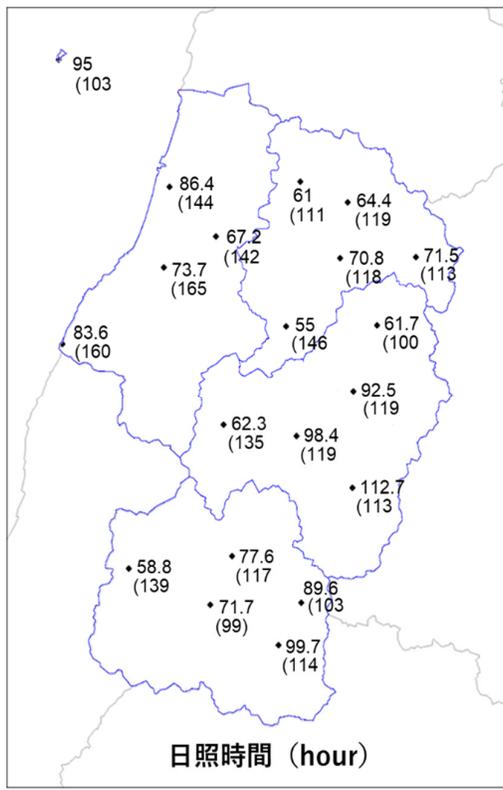
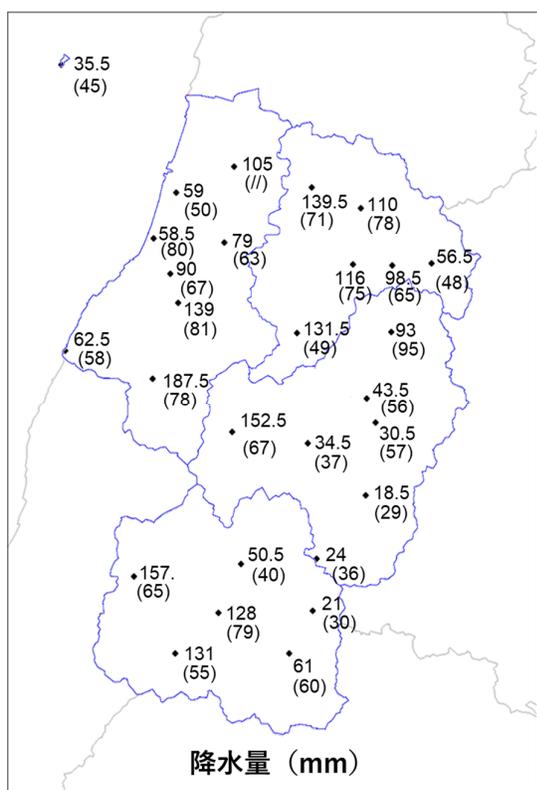
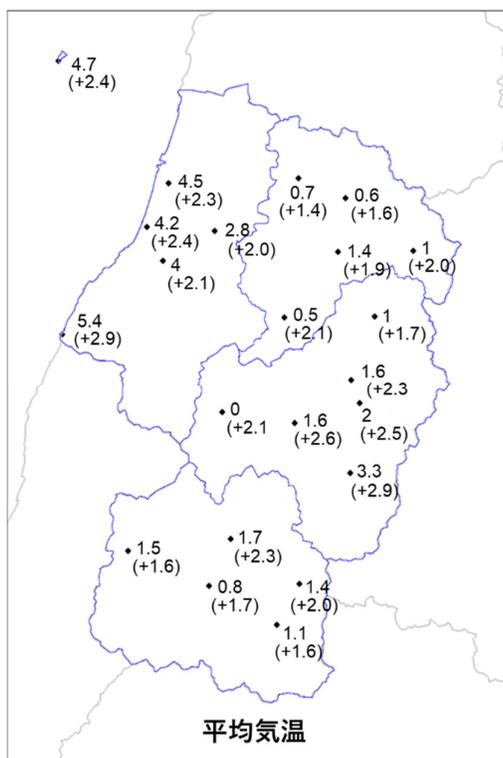
長井



米沢



5 気象分布図（2026年2月）



注】Xは欠測、)は準正常値、]は資料不足値を示す。

平均気温の()内は平年差(℃)、降水量の()内は平年比(%)、日照時間の()内は平年比(%)を示す。

//は平年値なし。平年値は1991～2020年の平均値。

6 極値・順位更新 (2026年2月)

気象官署及び特別地域気象観測所(山形・酒田・新庄):2月として1位~3位更新を記載

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
月平均気温の高い方から (°C)	酒田	4.5	1	—	1937年
	山形	3.3	1	—	1890年
	新庄	1.4	3	—	1958年
月降水量の少ない方から (mm)	山形	18.5	1	—	1890年
	酒田	59.0	3	—	1937年
月最新積雪の小さい方から (cm)	山形	12	3	—	1893年
日最大10分間降水量 (mm)	新庄	2.0	3	5日	1958年

※同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

地域気象観測所(山形・新庄・酒田除く):2月として1位更新を記載(統計期間10年以上)

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
月平均気温の高い方から (°C)	飛島	4.7	1	—	1979年
	浜中	4.2	1	—	2003年
	鶴岡	4.0	1	—	1977年
	肘折	0.5	1	—	1977年
	鼠ヶ関	5.4	1	—	1977年
	東根	2.0	1	—	2003年
	大井沢	0.0	1	—	1979年
	左沢	1.6	1	—	1977年
月降水量の少ない方から (mm)	上山中山	24.0	1	—	2007年
日最大10分間降水量 (mm)	狩川	3.5	1	11日	2009年
日最大瞬間風速・風向 (m/s・16方位)	大井沢	25.0 ^{※1} ・ NNE	1	19日	2010年

※同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

※1:年間を通じて1位更新

7 その他

なし

※各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は、気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】 <https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>

【気象データのダウンロード(CSV)】 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>

【季節予報】 https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=060000